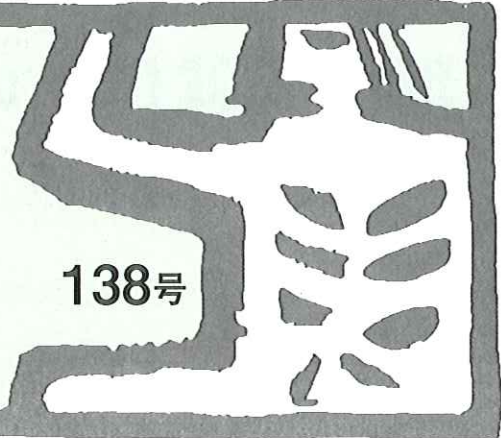


ピース・ウイング長崎 会報

へんりゃ

138号



■公益財団法人長崎平和推進協会 〒852-8117 長崎市平野町7番8号 ■電話(095)844-9922 FAX(095)844-9961
<http://www.peace-wing-n.or.jp>

- 理事長就任あいさつ
- 「秋月 Grant」助成事業募集
- 平成24年度 事業報告
- 「アジア青年平和交流事業」企画募集・公開コンペティションのお知らせ
- TOPICS! (平和の灯、被爆者健康講話予定、賛助会員紹介 ほか)
- 定時評議員会・臨時理事会を開催
- 「第二楽章を語り継ぐ会」からのご寄付
- 祈念館だより



福島県川内村と中継を結び開催した被爆者健康講話 (6 ページに記事)

理事長就任あいさつ

公益財団法人長崎平和推進協会 横瀬 昭幸



この度、理事の皆様方のご推薦により、あらためて理事長を務めさせていただくこととなりました横瀬でございます。

私は、昭和58年2月の協会設立当初から役員となり、この間副理事長を6年、理事長を10年間、務めてまいりましたが、今回の改選により、気持ちも新たになるとともに、改めて責任の重さを感じているところでございます。

長崎平和推進協会は、一昨年4月に公益財団法人としてスタートいたしました。高い公益性とともに、大きな社会的責任も担っており、協会の各事業を円滑に運営できますのも、会員、役員・評議員の皆様方のご理解とご協力の賜物と、心から感謝申し上げます。

これからも、協会の基本理念である「核兵器廃絶と世界恒久平和」という大きな目標をかけた、被爆体験講話や平和案内人の派遣など、様々な平和推進事業を、市民の皆様と力を合わせて実施してまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

最後に、協会の運営に際し、皆様のご協力を切にお願いいたしまして、就任のあいさつといたします。

定時評議員会・臨時理事会を開催

5月30日、長崎原爆資料館平和学習室において定時評議員会及び臨時理事会が開催されました。

定時評議員会では平成24年度の協会決算が承認され、また、任期満了に伴う理事・監事と辞任に伴う評議員が選任されました。

定時評議員会終了後に開催された臨時理事会では、横瀬昭幸理事が理事長に、船山忠弘理事並びに朝長万左男理事が副理事長にそれぞれ出席理事の互選により選定されました。

平成25年5月30日以降の理事・監事、評議員の方々は次のとおりです。（敬称略）



臨時理事会

【理事24人】

(理事長) 横瀬 昭幸 (副理事長) 船山 忠弘、朝長 万左男
(理事) 小笠原 一弘、小川 隆明、神近 眞智子、川副 忠子、小瀬良 明、塩田 淑文、末永 浩、谷口 稜暉、中嶋 照次、中島 正徳、中村 明俊、中村 キクヨ、中山 明子、西村 泰徳、馬場 宣房、深堀 好敏、本田 貞勝、正林 克記、升本 由美子、芳川 孝太郎、吉田 睦子

【監事2人】 小林 伸也、佐藤 宏文

【評議員26人】 尼崎 正明、**荒田 忠幸**、安藤 洋章、内田 伯、梅山 賢一、小澤 明、金富 竹志、熊江 雅子、黒川 智夫、**小島 達也**、財前 博、芝野 由和、豊福 健一郎、長尾 保子、林田 克己、平川 茂子、船本 貴之、堀本 進、牧 清、増山 順子、**松尾 博臣**、山口 淳也、山口 八重子、山本 正興、渡邊 英寿、渡邊 弘

※太字は新任の評議員です。

秋月グラント助成事業募集中!

当協会創始者である故・秋月辰一郎氏の名前を冠した「秋月グラント」では、被爆体験の継承や平和意識の高揚を図るための活動などへ財政的な支援を行っています。今年度実施する事業について、ただいま申し込みを受け付けていますので、お役立てください。

対象：基本的には次の①から④のような平和啓発のための活動を新たに企画・実施しようとする個人、団体を対象とします。

- ①被爆・戦争体験を後世に伝えるための活動企画
- ②国内外において、国際的な平和交流を目的とした新規の活動企画
- ③調査研究・資料収集・教育などの幅広い平和啓発のための新たな活動企画
- ④その他、被爆体験の継承や平和意識高揚のための活動企画

助成額：全体事業経費の3/4以内の金額（20万円を限度）とし、事業内容によって支給額を決定します。

助成額の支給：事業が終了し活動報告が提出された後、支給します。

申込期限：平成25年11月29日（金）まで。なお助成額が当該年度の予算額を超えた場合は、その時点で締め切ります。

詳しくは協会事務局（☎（095）844-9922）までお尋ねください。

「第二楽章を語り継ぐ会」から ご寄付をいただきました

このほど、吉永小百合さんの原爆・平和朗読「第二楽章」の関連団体である「第二楽章を語り継ぐ会（緒方俊平代表）」から、当協会に対して50万円の寄付が寄せられました。

寄付は、本年3月5日に京都の同志社大学で開催された「吉永小百合チャリティコンサート・朗読会「第二楽章ヒロシマ・ナガサキ・フクシマ」」の収益金をこめて「」の収益金の一部をいただいたものです。また、同会から当協会に対しては、平成14年度に30万円、19年度に20万円の寄付もいただいております。

今回の多額な寄付とこれまでの度重なるご厚志に対し感謝の気持ちを表すため、当協会理事長から感謝状を贈呈しました。

なお、当協会では、平成十一年に「第二楽

章長崎から」のCD発売と合わせて、「吉永小百合原爆詩朗読会」を開催したことがあり、それを契機として吉永さんご本人や関連の団体から度々ご厚志を寄せていただいております。

（吉永小百合さんの心を込めた朗読を収めたCD「第二楽章長崎から」は、原爆資料館図書販売コーナーで販売しています。）



CD「第二楽章 長崎から」
2,940円（税込）

昨年度はこのような事業を行いました!

核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に寄与し、
平和への認識をさらに深めてもらうために、平成24年度は次の事業を実施しました

I 平和推進事業

1 発刊事業 (1,366,586円)

会報「へいわ」、ブックレット「平和のあゆみ」、会員勧誘パンフレット等の作製・発行

2 啓発事業 (2,081,334円)

被爆体験講話の実施

平成24年度 1,342件 172,911人
内訳 小学校563校、中学校454校
高校243校、一般82件

被爆の実相を伝えるため、修学旅行生や市内の小・中学校などで被爆体験講話を実施しました。

県外被爆体験講話(原爆展を含む)の開催

平成24年度開催 10市区町村
熊本県南阿蘇村、東京都豊島区、大阪府八尾市、
宮崎県日向市、栃木県小山市、山形県酒田市、
宮城県美里町、千葉県浦安市、神奈川県藤沢市
福島県福島市

原爆の問題について、触れる機会の少ない県外の方々に被爆者の体験講話を交え、被爆の実相や核兵器の恐ろしさを知ってもらうために県外の市区町村、長崎市及び当協会の共催で開催しました。

また、長崎県が主催する「被爆体験講話者派遣事業」にも講話者を派遣し、県内3市町及び九州内の4大学において講話を行いました。



日向市での講話の様子

原爆被災写真パネル・ビデオの貸し出し

平成24年度 パネル20件 ビデオ126本

講演会の開催

平和朗読～明日、あなたが語るナガサキ

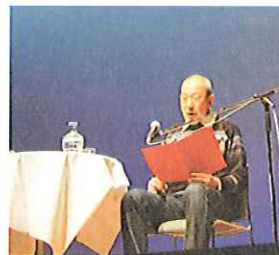
開催日：平成25年3月16日

場所：長崎市平和会館ホール

講演者：上條 恒彦氏(俳優)

加賀美 幸子氏(アナウンサー)

入場者：約600人



上條 恒彦氏



加賀美 幸子氏

国連軍縮週間行事

国連憲章の発効記念日である10月24日から1週間の「国連軍縮週間」に合わせ、市民の平和意識の高揚と平和問題の認識を高めるために「市民のつどい」を開催しました。

開催日：平成24年10月27日

場所：長崎原爆資料館階段下広場など

行事：戦時食コーナー、エコ風船コーナー、
折り鶴コーナー、音楽演奏コーナー、



子供たちに大人気だったエコ風船

原爆被災写真展、ポップコーン・綿菓子コーナーなど

3 育成事業 (5,993,861 円)

部会活動費

- 継承部会 ○写真資料調査部会
- 国際交流部会 ○音楽部会

市民の幅広い参加を求めながら、会員が市民とともに平和意識の高揚を高めるために活動を行いました。

アジア青年平和交流事業

これまでアジアの国々との「相互訪問」により交流を図ってきましたが、平成 23 年度より「企画採用形式」に事業の方針を転換しました。

平成 24 年度は次の 4 グループの企画を採用しました(カッコ内は事業名)。

- 活水高校平和学習部 (いしぶみもり活動)
- 長崎外国語大学 通訳・翻訳プロジェクト A
(国際交流サロン IN 長崎)
- 長崎大学 映画映像制作研究サークル止止
(平和の絵/映像制作)
- 長崎外国語大学 通訳・翻訳プロジェクト B
(被爆者 DVD 制作)

平和案内人派遣事業

修学旅行生や観光客を対象として碑巡りや資料館、祈念館などの案内をしました。延べ 3,717 人を派遣しました。

平成 24 年度活動実績

	利用・申込件数	利用者数	ガイド活動人数(延べ)
常駐ガイド	2,258件	9,708人	1,460人
碑巡りガイド	305件	16,899人	1,671人
資料館予約ガイド	116件	5,594人	586人

また、平和案内人と継承部会員の広島合同視察研修を 5 年ぶりに実施し、広島平和記念資料館や平和記念公園などの見学、被爆体験講話の聴講などを行いました。

平和活動支援、秋月グラント

協会の活動趣旨と一致する音楽会、シンポジウム及び外国人弁論大会などの活動や、被爆の継承や平和意識高揚のための事業へ助成をしました。

4 平和推進事業にかかる人件費 (17,725,652 円)

5 平和推進事業にかかるその他の諸経費 (3,248,239 円)

II 長崎原爆資料館運営事業 (15,607,483 円) (原爆資料館観覧料徴収及び受付案内業務)

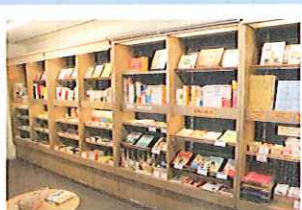
III 長崎原爆資料館図書資料収集整理事業 (4,392,313 円) (原爆資料館図書資料整理業務)

IV 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館運営事業 (233,418,353 円)

V 収益事業

(売上金額 17,346,715 円)

原爆・平和に関する図書や平和意識啓発普及のためのグッズなどを長崎原爆資料館のミュージアムショップで販売しました。



VI その他管理運営にかかる費用

(2,183,321 円)

法人の事業を管理するため各委員会、理事会、評議員会等を開催する費用等に支出しました。

原爆死没者 名簿風通し

5月21日、追悼平和祈念館交流ラウンジにおいて、原爆死没者名簿の風通しが行われました。



長崎市職員11人の手によって一冊一冊整然と並べられた名簿は、11時2分に黙祷が捧げられた後、職員が一枚ずつ丁寧に名簿をめくり、湿気を払っていきまし

た。風通しを終えた名簿は、同館・追悼空間の名簿棚に納められ、8月9日の平和祈念式典に奉安されます。

名簿には長崎に投下された原爆で亡くなった15万8754人分の氏名や死亡日、享年が記され、その数は平成24年8月9日の時点で159冊（うち1冊は白紙）にのぼります。また広島原爆で亡くなった長崎市民ら11人分を記した「長崎市広島原爆死没者名簿」も1冊保管されています。

世界とつながる

ピースネット

追悼平和祈念館では、このほど米国・ロサンゼルスと祈念館をインターネットで結び、ピースネットを行いました。

このピースネットは、祈念館の開館10周年と毎年開催している長崎国際映画フォーラムのプレイベントとして、ロサンゼルスで開催されていた「ロサンゼルス日本映画祭」の会場を結び、NBC長崎放送制作の「神と原爆」の上映や被爆

体験の聴講による意見交換を行いました。

長崎からは当協会継承部会員の山脇佳朗さんと奥村アヤ子さんが、ロサンゼルスからは広島で被爆した米国在住の井川隆美さんが被爆体験を語り、両会場合わせて約50人が耳を傾けました。

3人の被爆体験を聞き、米国の女性が涙を流す姿も見られ、長崎の大学生は「被爆者は米国への怒りがあつたはずだが、悲惨な体験を語る勇気が今の平和につながっていると思う」と話していました。

被爆者健康講話始まる

第1回目は福島県川内村から中継

追悼平和祈念館が毎年開催している「被爆者健康講話」が始まりました。（全10回）

第1回目は、「川内村の現状と復興」と題して、来賓に田上富久市長をお招きして、6月20日に祈念館交流ラウンジで開催されました。

福島第一原子力発電所の事故で避難を余儀なくされている福島県川内村に、今春長崎大学が開設した「長崎大学・川内村復興推進拠点」と祈念館交流ラウンジを中継で結び、川内村の遠藤雄幸村長にもご出演いただき挨拶をいただきました。

講話では、川内村復興対策課の井出寿一課長と、川内村で住民の健康相談などにあ

たっている長崎大学大学院の折田真紀子保健師のお二人から講話をいただきました。

原発事故の発生当時は、全村避難の対象となっていた川内村の復興までの状況について、事故発生時の混乱の様子、避難所での住民の様子、放射能の除染の状況、現在の帰村者の状況と計画、避難者の帰村に向けた各種事業への取り組みなどをお話しいただきました。

交流ラウンジに集まった約50人の市民からは、放射能が住民に与える影響や、村民の健康状態などについて、熱心な質問がありました。

原爆写真展が開催されます

「写真で見る同心円」

写真資料調査部会では、毎年原爆被爆に関する写真展を開催しており、今回は「同心円状の被害」をテーマに開催します。

起伏にとんだ長崎の街に、原爆の熱線や爆風がもたらした「同心円状の被害」を貴重な被災写真を通じて紹介します。ぜひお立ち寄りください。

とき：8月1日（木）～31日（土）
ところ：追悼平和祈念館 交流ラウンジ
お問い合わせ：長崎平和推進協会 写真資料調査部会
☎（095）844-9922



2013.8.1(Thu)～8.31(Sat)
国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館
B2F 交流ラウンジ
9:30～5:30



ピースネットの様子
(5月18日・祈念館交流ラウンジ)

アジア青年平和交流事業

「自分たちが考えるアジアの若者同士の 国際・平和交流プログラム」

企画募集中!

当協会が実施する「アジア青年平和交流事業」は、若者の発想を広く取り入れ、かつ若者自身による自主的・継続的な取り組みを目指す観点から、平成23年度より長崎県内の大学・大学院、高校、専門学校等の留学生を含む学生・生徒の皆さんが提案した企画を公開コンペティションで審査し、企画の選考を行っています。

選考された企画には、協会から事業運営資金を提供し、若者自身に事業を実施してもらうことにしています。

今年度も「自分たちが考えるアジアの若者同士の国際・平和交流プログラム」というテーマで企画を募集中です。

応募締め切りが7月12日（金）と期限が迫っていますが、ご家族、ご友人に平和活動や国際交流に興味のある学生・生徒さんがいらっしゃいましたら、ぜひ応募をおすすめください。

公開コンペティション開催のお知らせ

応募された企画の審査を行う「公開コンペティション」を次のとおり開催します。若者の平和・国際交流に対する熱意を感じてみませんか。

ご来場の皆さまとの質疑応答の時間も設けておりますので、ぜひご来場ください。

と き：7月21日（日）午後1時～

ところ：追悼平和祈念館 交流ラウンジ（長崎市平野町7-8）

- 内 容：①応募者によるプレゼンテーション
②審査員及び一般来場者との質疑応答
③審査員による審査
④表彰式

応募に関する詳しい内容及び公開コンペティションについてのお問い合わせは、協会HP（<http://www.peace-wing-n.or.jp/>）または事務局（☎（095）844-9922）まで。

平和祈念式典は祈念館でも中継します

8月9日開催の平和祈念式典は、祈念館でもご覧になれます。

当日は式典会場と地下2階の交流ラウンジを中継で結び、式典の様子を放映します。

祈念館の開館時間について

祈念館は8月7日から9日まで、開館時間を午後8時まで延長します。

約7万個の追悼の明かりが灯る地上部の水盤も午後8時まで開放していますので、ぜひお立ち寄りください。

追悼平和祈念館開館10周年 記念講演会の開催について

祈念館は7月6日で開館10周年を迎えます。これを記念して、設計に関わられた建築家を招き、「心に向かう祈りの光—建築空間と光—」をテーマに講演会と施設案内を開催します。ぜひご参加ください。

と き：7月7日（日）午後2時～4時

ところ：追悼平和祈念館 交流ラウンジ

お問い合わせ：追悼平和祈念館

☎（095）814-0055

「平和の灯」を一緒にともしませんか？

小・中学生や市民が平和への願いを込めて作った約5,000本のキャンドルに灯をともし、平和を祈るコンサートを開催します。

当日は会場内でキャンドルにメッセージやイラストを描くこともできますので、皆さまご来場ください。

と き：8月8日（木）午後6時45分～8時30分

ところ：平和公園内 平和の泉

出演者：城山小学校、山里小学校、江平中学校、十八銀行混声合唱団、長崎県オペラ協会、オペラユニットレジェンド、NAG's、長崎県立盲学校

※コンサート内容は一部変更となる場合がございます。

お問い合わせ：事務局 長崎市被爆継承課 ☎ (095) 844-3913



被爆者健康講話のお知らせ

6ページでもお知らせしましたが、祈念館では被爆者健康講話を6月に開講しました。第2回講話からは昨年同様に五島市にも会場を設け、インターネットでの中継を行います。長崎・五島会場ともに、参加ご希望の方は祈念館までご連絡ください。

と き：午後2時～3時

ところ：祈念館地下1階研究室（長崎会場）
福江総合福祉保健センター（五島会場）

申込み・お問い合わせ：追悼平和祈念館

☎ (095) 814-0055

	と き	テ ー マ
第2回	7月18日(木)	「快眠のススメ」
第3回	8月22日(木)	「(未定)」
第4回	9月19日(木)	「(未定)」

賛助会員のご紹介③

前号、前々号に引き続き、当協会の趣旨にご賛同いただいている賛助会員をご紹介します。ご支援・ご協力、誠にありがとうございます。

長崎衛生公社、長崎県地域婦人団体連絡協議会、長崎青年会議所、長崎青年協会、広島国際文化財団、長崎YWCA、長崎YMCA、長崎市社会福祉協議会、長崎国際観光コンベンション協会、全国公益法人協会、西部ガス労働組合長崎支部、長崎観光特産品協同組合、長崎県建設産業労働組合、長崎県生活協同組合連合会、長崎地区労働組合会議、長崎西彼農業協同組合、日本労働組合総連合会長崎県連合会、長崎市役所職員生活協同組合、長崎市役所従業員組合、長崎市役所職員労働組合連合会、長崎市老人クラブ連合会、長崎市管工業協同組合、民生委員児童委員協議会（長崎市13地区）（順不同）

会員数報告

◎維持会員 1,162人

◎賛助会員 151人

◎学生会員 10人

平成25年6月5日現在

寄付者紹介

◎第二楽章を語り継ぐ会 五十万円

◎調 朝子 一万円

◎鶴 莊次 五千円

◎山中 弘幸 五千円

◎匿名 二万円

◎匿名 一万円

◎匿名 六千円

◎匿名 四千円

（敬称略）

会費納入のお願い

当協会の活動は皆さまの会費に支えられています。

今年度まだ会費を納めていない方は、何卒趣旨をご理解いただき、先にお送りしている払込票により最寄りの郵便局で納入くださいますようお願いいたします。